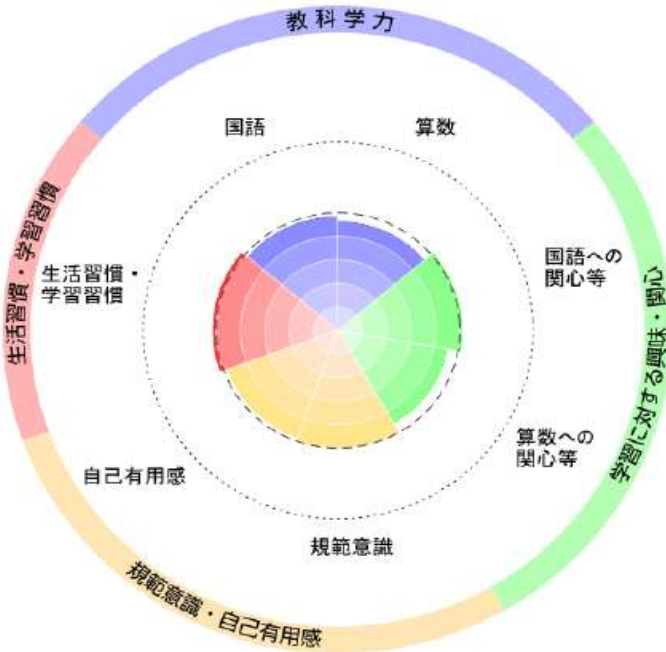


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策(松江市全体～小学校・義務教育学校前期課程)

(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
国語	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げるために役立つことに気づくこと。 ●人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	・物語の読み取りでは、自分の思いや考えを大切にしながら他者と感想交流をし、本文にある「核となる言葉」を使って考えや感想を書くなどの学習機会を積極的に設ける。 ・目的や意図に応じて、集めた材料や情報を分類したり、関係付けたり、伝え合う内容を検討する(言語活動の)機会を積極的に設ける。
算数	○加法と減法との相互関係について理解し、問題場面の数量の関係を捉えて式に表すこと。 ●球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すこと。 ●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること。 ●速さなど単位量あたりの大きさの意味について理解すること。	・立体図形を真上や真横から観察して形を捉えたうえで体積を調べるなどの数学的活動を充実させる。 ・さまざまな問題を解くにあたって、「方法」「理由」「事実」について言葉や数、式などを用いて記述し説明する活動を多く設ける。 ・求めた速さなどを図に表して問題場面と比べ、求めた速さが妥当かどうかを考察したり、判断したりする活動を取り入れる。

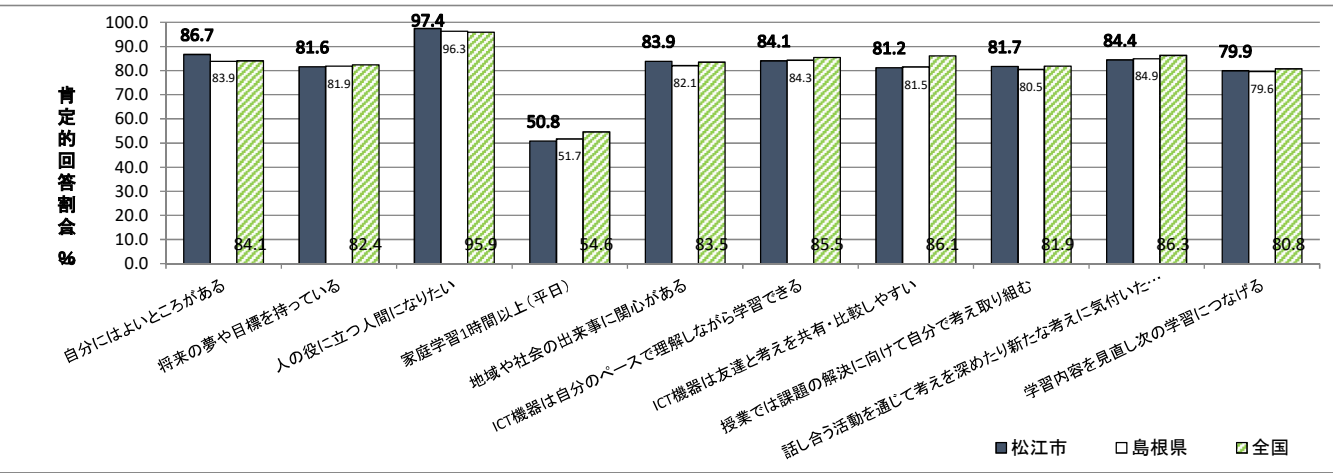
(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(2)質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
質問紙	○早寝早起き朝ごはんの習慣が身についている児童が多い。 ○自分にはよいところがある、人に役立つ人間になりたいという思いを持つ児童が多い。 ●算数、英語の勉強が好きという肯定的回答の割合が低い。 ●教師はわかるまで教えてくれると感じている児童が多い一方で、学ぶことの楽しさや良さを感じることができたという思いを持つ児童が少ない。	・基礎基本の学習を基盤としつつ、ICTの効果的な活用、学習内容と日常生活の関連づけ等を行う中で、児童の主体的な学びの実現に向けた授業改善を行う。 ・個に応じた学習(課題を見つける、自分のペースや方法で追究する、得意を生かす等)、他とのコミュニケーション(自分の考えを持つ、分かりやすく伝える、違いを比較する、新たな考えを作り出す等)のためのICT活用を増やす。 ・生活とのつながりを意識した学習、教科学習とのつながりを意識した地域の「ひと・もの・こと」を活用した学習を増やす。

(3)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、松江市教育委員会として注目しているものを挙げています。)



【参考】平均正答率(%)

	松江市	島根県	全国
国語	67	67	67.7
算数	61	61	63.4

【受検者数】 1,620 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。